

きょうと地域連携交付金 自己評価調書（令和5年度分）

団体名：宇治市

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
1	地域づくり連 携推進事業	防災	災害時地域タイムライン 作成支援事業	自主防災リーダーに対し、災害時のタイムライン作成支援にか かる研修を実施し、研修を修了した自主防災リーダーを浸水想 定区域内の自主防災組織に派遣し、地域ごとのタイムラインの 作成を支援する	115	50	タイムライン作成支援の取組として、 西大久保地域及び西小倉地域でのタイ ムライン作成に向け職員を派遣 防災シンポジウム開催（11月11日、約 200人参加）	研修及びシンポジウムの実施により若 年層へ防災活動の参画や重要性を訴 え、関心を持ってもらうことができ た。今後も災害時地域タイムラインの 作成支援を継続し、作成率の向上に努 める
2	地域づくり連 携推進事業	子育て 応援	図書館教育充実事業	全中学校ブロックに学校司書を配置し、学習の基盤となる資質 能力（言語能力、情報活用能力、問題発見解決能力）の向上を 図る	29,197	14,500	各中学校ブロックに学校司書を配置 し、児童・生徒の学習活動及び読書活 動の充実を図った。	学校司書の定期巡回によって、児童・ 生徒・教員の学習ニーズに応じた資料 準備・提供をするなど、授業支援を行 うことができた。今後も児童・生徒の 基礎学力の定着・向上のための取組を より一層推進する
3	地域づくり連 携推進事業	子育て 応援	いきいき学級支援員設置 事業	いきいき支援員を小中学校に配置し、特別教育支援体制の充実 を図る	19,993	9,900	支援員が授業の指導補助及び個別指導 などを行った。 いきいき学級支援員配置校小学校15 校・中学校9校 通常学級における特別な教育的支援が 必要な児童・生徒数及び割合1,513人 （11.9％）	支援員の配置により特別支援教育体制 を整備し、学習・生活の両面において 課題の改善を図った。引き続き効果的 な支援体制づくりに努める。
4	地域づくり連 携推進事業	環境	エコ・アクション推進事 業	環境に寄与する活動をした人に対してエコポイントを付与する ことで、日常生活における環境への意識改革・行動変容を促す	389	100	市域で「エコ・アクション・ポイン ト」アプリの利用推進を行い、宇治市 民限定のエコ・アクションに取り組ん だ方にポイントを付与した。 登録者数1,851人（R5年度末）、総ポイン ト付与数125,152ポイント	市民一人ひとりが日々の暮らしの中で 継続してエコ活動を行うきっかけとす ることができた。さらに多くの市民が 参加できるよう、今後も効果的な取組 を検討し、利用啓発に努める。
5	地域づくり連 携推進事業	環境	ゼロ・エネルギー・ハウ ス普及促進事業	住宅の高断熱化・高効率化によって、快適な室内環境と大幅な 省エネルギー化を実現し、もって温室効果ガス（二酸化炭素） の排出削減を図る	1,200	600	補助対象となるZEH導入費用に対して、 費用の一部を補助した。300千円（上 限）×4戸への支援を実施	普及促進を行うことにより、市内の温 室効果ガス排出量の低減をはじめとし た地球温暖化対策を推進することがで きた。今後も、より普及促進ができる 効果的な手法に努める。
6	地域づくり連 携推進事業	環境	親子で学ぶゼロカーボン ツアー事業	市内在住の小学5・6年生とその親を対象に、脱炭素の先進施設 を訪れるゼロカーボンツアーを実施	1,118	500	夏休み期間中に小学5・6年生とその親 を対象としたゼロカーボンツアーを3回 実施した。ツアーに延べ15組32人参加	親子で地球温暖化について学ぶ機会を 設けることにより、環境教育の充実を 図った。今後も引き続き、地球温暖化 防止の意識の啓発に努める。
7	地域づくり連 携推進事業	環境	環境教育充実事業	幼児から中学生の成長に応じた環境教育を実施。	617	300	将来の中心世代である幼児から中学生 を対象に環境教育を実施 環境教育実施件数幼・保：34園、小学 校：21校、中学校：4校に対して実施	環境問題について楽しく学んでもらえ るよう、子どもの成長段階に応じた学 習内容を設定した他、体験型メニュー を取り入れることにより、ごみ分別の 大切さ等についてより身近に感じても らうことができた。

8	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	中小企業創業支援事業	創業初期の経営安定化・地域経済の活性化等を目的に創業にかかる経費の一部を補助 ・基礎分：補助率1/3（上限100万円） ・加算分：最大80万円（要件：移住・若者・市内新規雇用・空き家活用）	10,644	5,300	新たに創業する者に対して、その創業等に要する経費の一部を補助した。10事業者（うち空き家活用2件）への支援を実施	「宇治市産業戦略」の中で目標としている補助金による年間6件以上の創業支援を達成することができた。今後も引き続き、各機関と連携・協働して市内での起業を促進する必要がある。
9	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	中小企業事業承継支援事業	意思疎通や経営方針等について、課題を抱える市内事業者に対し、円滑な事業承継を促すため、イベント及びセミナーを開催	3,959	1,900	製造業に特化した交流会・セミナー交流セミナーを実施、4回実施・延べ参加者21人 小規模で継続的な交流会・セミナーを実施、5回実施・延べ参加者57人	交流会・セミナー開催を通じ2代目社長ネットワークの構築をし、参加者主導による交流会も開催される等、着実にネットワークが構築されている。今後も引き続き、事業を実施する中で事業連携やマッチング、人材育成につなげていく。 小規模で継続的な交流セミナーについては、参加者による学びの深化とアトツギコミュニティの強化と拡大が図れた。
10	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	市内企業PR動画作成事業	市内製造業を取材し、求職者向けのPR動画を作成	3,960	1,900	市内製造業を取材し、求職者向け（高校生・専門大学生、大学生、大学院生及び既卒者）のプロモーション動画の作成を行ない、12件の作成支援を実施	求職者向けのプロモーション動画を作成することにより、市内製造業の人材確保を支援することができた。作成した動画は各事業者のホームページや企業説明の場で活用されている。
11	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	観光インバウンド推進事業	ウィズコロナ・ポストコロナにおける観光戦略として、海外向け観光PR記事の作成や海外インバウンドコーディネート（誘客促進業務）等を実施することにより、宇治及び周辺自治体への潜在的な観光意欲を高める取組を実施	9,000	4,500	海外の観光動向について調査・分析を行い、海外の旅行代理店及び国内の観光事業者に対して継続的な情報発信を行った。 三市連携（宇治・亀岡・舞鶴）台湾FIT誘客事業、海外向け情報誌への記事掲載、インバウンド向けSNS動画プロモーション、海外情報収集・分析、インターネット、SNSを通じた海外ユーザーへの魅力発信を実施した。	海外に向けて宇治の情報発信・魅力発信を継続して行うことにより、外国人観光客の誘客促進を図った。外国人観光客のさらなる誘客のため、引き続き様々なメディアを利用し効果的な情報発信に努める
12	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	広域観光推進事業	京都府内外の関連地域や地域をつなぐ交通事業者等と連携し、タイミングを捉えた取組や継続的な取組を進める	2,475	1,200	京都府内外の関連地域や地域をつなぐ取組を実施した。 「ぶらり街道めぐり～鉄の路編～」京阪ホールディングス㈱と協力し、鉄の路をテーマとした歴史講座、展示及び宇治市内の歴史探訪ウォークを実施 「めぐり逢ひて紫式部スタンプラリー（第1弾）」宇治市、大津市、越前市等で連携し、源氏物語や紫式部ゆかりの地を巡るスタンプラリーを実施	京都府内外の関連地域や交通事業者と連携した取組を実施することにより、広域への観光PRができた。引き続き、多様な主体と連携し、それぞれの魅力的な観光資源を活かすとともに、共同で情報発信を行うことにより、機会を捉えた誘客促進に取り組む。
13	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	戦略的観光情報発信事業	・パンフレットの発行・更新やSNSの活用等による情報発信の強化 ・訴求力の高い宇治のコンテンツや観光大使と連携した情報発信 ・データを活用した情報把握による効果的な情報発信	26,834	13,400	各地での観光プロモーションの実施（旅行会社への営業、PRイベントへの参加）、「京阪電車×響け！ユーフォニアム2023」への協力、公共交通機関での観光情報の掲示、観光パンフレット、観光ポスター印刷、人流情報の収集・分析、観光大使の活用を実施	宇治の観光情報発信として様々な取組を取り入れることにより、宇治の認知度及び宇治への訪問意欲の向上に努めることができた。引き続き、宇治の魅力国内外へ積極的・戦略的に発信することで、宇治への訪問意欲の喚起に努める。

14	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	保育所・育成学級等緊急安全対策事業	市内の全保育所等に安全対策指導員を配置。また、土曜日・三季学校休業日等に開設している育成学級に安全対策指導員を配置。子供が安心して過ごせる環境を整備	35,742	17,700	公立施設に対して、安全対策支援員等（1日4時間程度）を保育所の送迎時間や学校休業日に配置し、校内への不審者侵入を防ぐため、巡視及び来校者の確認などを行った 民間施設に対して、保育所等安全運営支援員の配置への補助を実施	安全対策支援員等の配置により、送迎の時間帯や学校休業日などにおける児童及び園児の安全確保を図り、安全・安心な運営に努めた。
15	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	児童虐待防止対策強化事業	子ども家庭総合支援拠点にて子どもや妊婦などに必要な支援を行うとともに、児童相談所・その他関係機関との連携強化、研修会の開催及び広報・啓発活動等を実施	28,171	6,700	要保護児童対策地域協議会の実施、調整会議開催11回、児童虐待ケースの延べ対応件数860件 啓発・研修として「秋のこどもまんなか月間 オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」と「女性に対する暴力をなくす運動」それぞれの活動のシンボルを合わせた「オレンジリボン・パープルリボン・キャンペーン」を、毎年11月に男女共同参画課と共催で実施	子ども家庭総合支援拠点として、子どもや妊婦などに必要な支援を行った。今後も引き続き、児童相談所及び関係機関との連携、研修会の開催及び広報・啓発活動などを通じ、児童虐待防止に努める。
16	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	児童虐待等見守り強化事業	地域の中で支援を必要とする子どものいる家庭に対し、訪問による声かけ、食事の提供等により児童の現認、家庭との関係構築を行い、他の支援につなぐ等の見守りを実施	9,866	1,600	訪問による声かけ、食事の提供等により児童の現認、家庭との関係構築を行い児童虐待防止に努めた、訪問家庭数32家庭、対象児童数65人、訪問回数194回（延べ対象児童数419人）	見守りが必要な家庭や今まで接触しづらかった家庭等について、本事業を実施することで児童の現認、必要な支援へのつながりを行うことができた。
17	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	小中一貫教育推進事業	全中学校ブロックにラーニングコーディネーターを配置し、学力向上に向けた研究及び研修の企画、ブロック単位での学力分析を実施するなど、学力向上に資する取組を実施	31,944	15,900	全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、全ての中学校に「ラーニングコーディネーター」及び教科連携教員を配置し、系統的・継続的指導を進め、各中学校ブロックでの広報・啓発等を実施 「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進捗管理を行った	ラーニングコーディネーターを要とした小中一貫教育推進体制を基盤に、各中学校ブロックの課題を焦点化させることにより、目指す子ども像や学力観について理解を深め、特に学力定着・向上に向けた取組を進めることができた。
18	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	学校支援チーム活動事業	いじめ、不登校などの課題に対する専門的なサポートが求められているため、社会福祉士、臨床心理士等の専門家を交えた「学校支援チーム」を設置	9,342	4,600	専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を設置し、専門的見地からの指導助言による支援を実施 顧問弁護士による法律相談、スクールソーシャルワーカーによる学校現場の困難な事象解決へ向けたアプローチにより、効果的な支援を行った 支援チーム会議を8回開催	学校現場の円滑な運営のため専門家による学校支援チームを設置し、専門的・組織的な支援を行うことで、学校現場で起こる困難事例に対しても解決を図ることができた。
19	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	電子図書館学校連携事業	小学3年生以上の全小中学生に電子図書館利用者ID及びパスワードを配布し、朝読書や調べ学習などに役立つ小中学生向け電子書籍等を整備するほか、図書館に電子書籍閲覧用の貸出タブレットを整備	11,753	5,800	学校や家庭などでいつでも電子図書が読める環境を整備 ・利用状況等、電子書籍点数22,570点 ・図書館分、貸出人数6,401人、貸出点数10,397点 ・学校連携分、貸出人数30,611人、貸出点数72,929点	来館せず電子書籍を読むことができる本サービスを専用IDカードを配付して展開することにより、読書習慣のない小中学生が本に触れたり、家族で図書館を訪れるきっかけを提供できた。

20	地域づくり連携推進事業	文化の力	文化財指定推進事業	市内に残る貴重な文化財を指定することによって、保護推進を図り、後世に伝えるため、指定文化財等の修理等に対し補助を行い、文化財の保存及び活用を図る（市単独：1/2（補助上限70万円）	703	300	民俗伝承行事大弊神事及び文化財の防火用水漏水修理への補助を実施	文化財の修理等への補助を実施したことにより、文化財の保全に努めることができた。引き続き、優先順位等を見極めて文化財保護の推進を図るとともに、未指定を含めた文化財の修理等への補助を実施する中で、保存・活用に努める。
21	地域づくり連携推進事業	文化の力	文化的景観保護推進事業	国の重要文化的景観に選定された「宇治の文化的景観」を保全するため、重要構成要素建物の所有者が行う修理事業に対し市が補助金を支出（補助率1/2、国庫補助を上限）	22,011	5,500	景観の保全を図るため、重要な構成要素となっている建物の改修について所有者等と調整を行った。修理・修景事業としては、旧茶業会議所床の間補修、中村藤吉本店角屋改修、中村藤吉本店主屋修理の3件の工事に補助を行った	重要な構成要素となっている建物の修理等を実施することにより、宇治の文化的景観を保存することができた。引き続き、歴史的な資産と一体となった魅力あふれる宇治のまちづくりを進める。
22	地域づくり連携推進事業	京都産業	展示会出展支援助成事業	市内中小企業が開発した製品等の展示会への出展を支援 ・補助率：1/2 ・補助上限：40万円	6,648	3,300	企業の新規取引の促進を図るため、開発・製作した製品を公的機関等が開催する展示会に出展した市内の中小企業に対し、その経費の一部を助成した。助成社数24件	展示会への出展経費を助成することにより、市内企業の新たな営業機会を提供し、企業の新規取引先の開拓による市内企業の活性化を図ることができた。
23	地域づくり連携推進事業	京都産業	企業立地促進助成事業	市内に事業場及び設備・拡張を図る企業を支援 ・事業場当設置助成金 →投下固定資産額等の1/10を助成 ・操業支援助成金 →操業支援として3年にわたり助成 ・雇用創出助成金 →新規雇用市内在住従業員数に30万円を乗じた額を助成	39,700	19,428	市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。交付社数7社	市内において工場等を新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付することにより、市内への企業の立地を促進し、市内経済の活性化を図った。
24	地域づくり連携推進事業	その他	公共施設現況調査事業	計画的に公共施設の長寿命化を実施することで、コストの平準化及び効率化を図る。(対象施設：①JR六地藏駅前第2駐輪場②京阪三室戸駅前駐輪場③観光センター④黄檗市営住宅⑤神明宮東市営住宅 ⑥生涯学習センター)	17,994	6,767	施設の現況に応じて改修年度及び内容を決定し、計画的に令和6年度以降に改修事業を実施	「宇治市公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、現況調査を行うことにより、計画的に改修内容を定めることができた。
25	地域づくり連携推進事業	その他	河川現況調査事業	市管理河川の現況調査を実施し、計画的に改修を行うことで、効果的・効率的な河川維持管理を図る。（都市部・山間部36河川を対象として実施）	7,227	3,600	効果的・効率的な改修を目的とした維持管理計画を策定するため、宇治市管理河川の現況調査を実施	現況調査を実施し、現状を把握することで、安全性の確保および維持管理費の削減を目的とした、予防保全型の維持管理計画策定に向けた取り組みを推進できた